

多様性と周辺環境との調和

カナダの建築



ハリファックスのシエラ・ホテル (左端)。

建築というのは、おそらく芸術と技術の

究極的な組み合わせと言えるだろう。建築

はまず創造力から派生して、文化、環境お

よび時間の巧みな芸術的表現として具現化

する。同時に、創造力と芸術的表現力が実

際の建築物となるためには、気候や費用、空

間に対する配慮と建築技術が不可欠である。

機能性と美観をどううまく合体させるか

——カナダの建築家たちは、多様な地理、

気候そして文化をもつ国にあって、この課

題に挑戦し、多くのすぐれた作品を生んで

きた。

例えば氷点下の真冬でも一定の気温が保

たれ、かつ魅力的なシヨピング・モール。

激しい風や寒さに耐え、しかも端正な美し

さをもつ北極の住宅。

建築は、その国の歴史と文化の恒久的な

遺産でもあるが、その点でもカナダは恵ま

れている。太平洋沿岸インディアンの独特

な建築芸術を今に残すプリンス・エドワード

島の歴史を醸し出す東部カナダの歴史的建

近隣の歴史に配慮

カナダの建築界における現在のキーワー

ドは「周辺環境との調和」である。これは、

単に周囲の色と同レベルンガや、周囲にマツ

チした窓やドアを用いるだけでなく、周辺

にある建造物の規模や容積、その地域の建

材や建築様式、近隣の歴史などを考慮して

建築物を設計する、というにはかならない。

例えばノバスコシア州ハリファックスの

シエラ・ホテル。同ホテル・チェンソー

が全世界に顧客をもっていることを考える

と、設計者は豪華な、しかし没個性の高層

ビルを建てる誘惑に駆られても不思議はな

い。しかし、設計を受け持ったハリファク

スのライオン・リソチ社はウォーター・

フロントという立地条件 (南側には18世紀

から19世紀にかけての埠頭が再現され、レ

ストライプの柄を再現し、デザインを一新

して、外壁にハリファックスの歴史に

合う花崗岩の色、手触り、密度、それに

まだら模様を、密度、それにまだら模様を

用い、埠頭の切石やここにまつて建

て建っていた建造物の雰囲気になら

せている。

モントリオールの各地に散ら

ばっていたケベック大学を、市内の中心地

にまとめるにあたっての課題は、ノートル

ダム・カールド寺院など周辺の由緒ある

建物と調和させながら、いかにして近代都

市にふさわしい雰囲気をだすか、というこ

とであった。

フィリップ・デュボロ設計事務所

は、建物の一方を低くおさえ、もう一方を

高くして、それぞれの通りの他の建物と同

じ高さにし、敷地内にあったサン・ジャ

ク教会の尖塔と南側翼廊をそのまま残し、

大学の隣にあるノートルダム寺院のデザイン

と調和させる。正面は張り出し窓やパ

ネルコニーをあしらって、近隣の伝統的な雰

囲気に合わせて、表通りに面した部分は近代

的な造りにするとともに、ノートルダム寺

院の尖塔や切石によって過去との対称感を

見せた。

もしも依拠すべき周辺環境がないときは

どうしたらいいだろうか。例えば、都市が

急成長して、これまでほとんど何もなかつ

たところに公共の建物を建てる場合は?

地域の産業を加味

トロントのシヨピング・モール・カーク

ランド建築事務所が、ミシサガ市から新し

いシナイホールの設計依頼を受けて直面し

たのが、まさにその問題だった。建築家た

ちは、畑のど真ん中にある建設予定地につ

いて、周辺の歴史や環境を調査した。その

結果、19世紀オントリオの公共建築を想起

させる時計塔と銅板屋根のピラミッド状建

物、それに地域の伝統的産業を反映させる

典型的な農家風の建物を組合せることにし

た。

伝統的なのは外観だけで、一歩中に入る

と、スホーツ・セクター、ライクフ・セン

ター、リクレシヨン施設、円形劇場、美

術館、集会場ありで、現在どころか、21世

紀の市民のニーズを先取りした設計になっ

ている。シナイホールは、カナダ有数のホ

ストモダン建築として、内外から称賛を浴

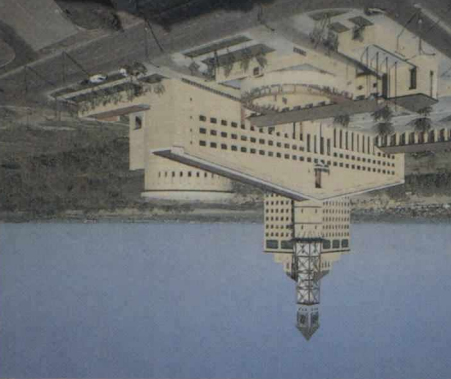
びている。

カナダの建築を語るとき、トロント・イ

ンター・セクターを忘れてはならないだろ

う。このシヨピング・セクターは、1979

年19世紀オントリオの農場に似せたミシサガ・シナイホール



19世紀オントリオの農場に似せたミシサガ・シナイホール

は、建物の一方を低くおさえ、もう一方を

高くして、それぞれの通りの他の建物と同

じ高さにし、敷地内にあったサン・ジャ

ク教会の尖塔と南側翼廊をそのまま残し、

大学の隣にあるノートルダム寺院のデザイン

と調和させる。正面は張り出し窓やパ

ネルコニーをあしらって、近隣の伝統的な雰

囲気に合わせて、表通りに面した部分は近代

的な造りにするとともに、ノートルダム寺

院の尖塔や切石によって過去との対称感を

見せた。

もしも依拠すべき周辺環境がないときは

どうしたらいいだろうか。例えば、都市が

急成長して、これまでほとんど何もなかつ

たところに公共の建物を建てる場合は?

地域の産業を加味

トロントのシヨピング・モール・カーク

ランド建築事務所が、ミシサガ市から新し